

平成29年度

第1回 学校評議員会の実施報告書

| | |
|------------|---------|
| ホームページへの掲載 | |
| 済・未 | 8月中掲載予定 |

岐阜県立飛驒吉城特別支援学校

校長 鈴木 肇子

所在地 飛驒市古川町片原町8番127 TEL 0577-73-3600

1 会議の名称 岐阜県立飛驒吉城特別支援学校評議員会

2 会議の構成 委員 (五十音順・敬称略)

| | |
|-------|---------------|
| 大嶋 政一 | 地域の方代表 |
| 鮫嶋 政廣 | P T A代表 |
| 中屋 正利 | 地域の方代表 |
| 藤田 計人 | 飛驒慈光会吉城山ゆり園園長 |
| 松井 瑛子 | 地域の方代表 |

飛驒吉城特別支援学校

| | |
|-------|---------------|
| 鈴木 肇子 | 校長 |
| 鹿嶋 成美 | 教頭 |
| 渡辺 敏昭 | 事務長 |
| 長瀬 朋彦 | 小中部主事 |
| 石原 元子 | 教務主任 |
| 清水 学 | 進路指導主事 (作業主任) |

3 会議の目的 学校運営等について地域住民や保護者等から幅広く意見を求め、充実した教育活動を展開するとともに、地域に開かれた学校づくりを推進することを目的とする。

4 会議の開催 日時：平成29年6月27日(火)午後10時00分～11時30分
場所：飛驒吉城特別支援学校 多目的室及び各教室
出席者：委員5人 学校職員6人
欠席者：なし

5 会議の概要 (1) 校長挨拶

- (2) 委嘱状交付
- (3) 自己紹介
- (4) 学校概要について
- (5) 授業参観
- (6) 評議

6 会議の内容

○校長挨拶（略）

○自己紹介（略）

○学校概要等について

- ・4月の古川祭、5月の運動会では、地域の方の協力を強く感じた。開校から5年間「地域で育ち、学び、共に生きる」の教育目標のもと実践を積み上げてきていることによって、自然な交流ができています。
- ・地域に学校ができることの意味、地域に理解していただけることの大切さを改めて感じる。地域の力をお借りしながら児童生徒に高等部卒業までに様々な力をつけていきたい。
- ・児童生徒数は昨年度30人から今年度29人と、1人の減となった。学級数は小学部重複学級と高等部の準ずる通常（病弱）学級がそれぞれ1増の計2学級の増となった。

○授業参観及び施設見学(略)

○高等部作業学習の製品価格について

<説明>

- ・窯業班製品の価格は、粘土の量を基に市販品と比較して設定している。
- ・手工芸班製品の価格は、布の量を基に市販品と比較して設定している。

<評議結果>

- ・新製品4点について、適正な価格であると認める。
- ・既存製品について、適正価格であると認める。

○会議のまとめ

<授業の感想等>

- 意見1 実際に経験する実習から事後指導まで、生徒のことを考えた授業だった。
- 意見2 現場実習の事後学習では学校における授業へのフィードバックができており、考えられた従業づくりができていたと感じた。
- 意見3 子供たちは生き生きと学習していた。文章を書いていた生徒もしっかりした文字で書けていた。子供の状態に合った教材、教具が工夫してあった。

<社会自立に向けた指導について>

- 意見4 健常者であれ、障がい者であれ、将来自立していくことが目標であると考えている。区長会でも吉城山ゆり園を見学させてもらい、自立への指導は大変苦労があると察する。また、飛騨地域での卒業後の企業、施設は少なく、なかなか大変である。近くに県の教員住宅があり、老朽化により取り壊す予定とのことだが、個人的には、これを有効活用した指導を考えられないかと思う。

<安全・安心な学校作りについて>

- 意見5 いつも生徒、職員の挨拶から元気をもらえる。みんな元気でよい。昨年7月26日に相模原市で起こった痛ましい事件から間もなく1年がたつ、学校での安全、安心をお願いしたい

<まとめ>

- 本日は、いろいろな御意見をいただきありがたい。「第1は子ども」と考え、今後も教育していきたい。
- これからも御指導、御助言をお願いしたい。